

神と仏

房総の

木造十一面観音像(佐原市・莊厳寺)

平成11年

11月2日[火]~12月12日[日]

【休館日】月曜日 【開館時間】午前10時~午後6時(入場は午後5時30分まで)
ただし金曜日は午後8時まで(入場は午後7時30分まで)

【主催】千葉市美術館/千葉市立郷土博物館/NHK千葉放送局

【入場料】一般1000円(800円)/大学・高校生700円(560円)
中・小学生300円(240円) ※ ()内は団体30名以上および前売り料金

●会期中一部展示替えがあります。

千葉市美術館

Chiba City Museum of Art

〒260-8733千葉市中央区中央3-10-8

問い合わせ!NTTハローダイヤル043-227-8600



木造伝七仏薬師如来坐像(千葉市・東光院)

平成11年度秋季特別展

房総の神と仏

房総の地に、神道文化・仏教文化が波及したのは、7世紀頃といわれています。その頃から現代に至るまで、神道・仏教に関係するさまざまな作品が生みだされてきましたが、それらを包括的に概観する展覧会は、その必要性和意義は唱えられても、残念ながら一度も開催されていません。この企画は、古代から中世の仏像・仏画を中心に、房総の地に伝わる仏教・神道美術の優品を千葉県内各地から広く集め、一堂に会し、その全容を通覧しようというものであります。加えて、千葉氏と妙見信仰関係の資料なども展示いたします。房総の仏教・神道の文化と歴史を知り、それについて思いをめぐらせるまたとない機会と確信いたしております。 ●会期中一部展示替えがあります。

【展示内容】

出品点数 約120点

- I 彫刻(仏像・神像など) 45
- II 絵画(仏画・絵馬など) 20
- III 工芸 25
- IV 千葉氏と妙見信仰 20
- V その他 10

国重要文化財15件、県指定文化財38件

【シンポジウム】

「七仏薬師と妙見菩薩——千葉氏発生の謎——」

11月13日(土)午後2時より 11階講堂にて

司会 浜名徳順(芝山仁王尊・観音教寺)

パネラー 津田徹英(東京国立文化財研究所)

林 温(文化庁)

丸井敬司(千葉市立郷土博物館)

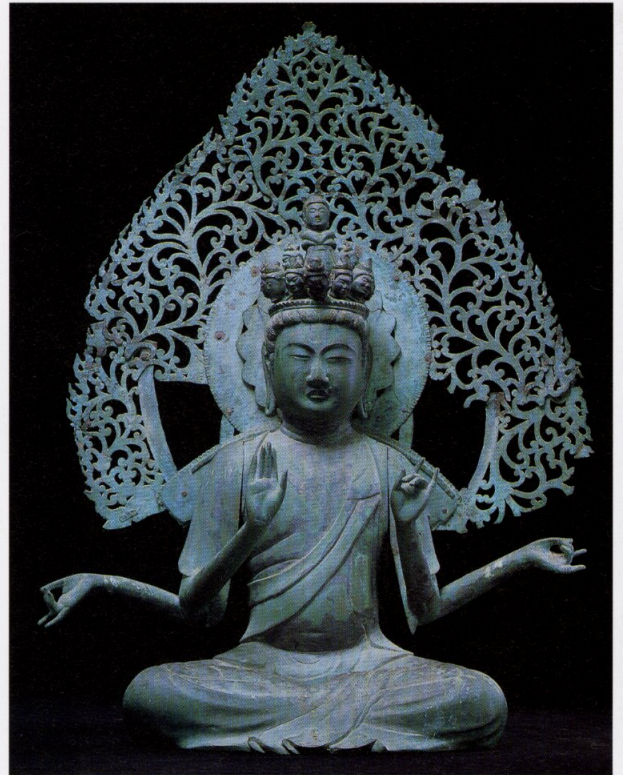
無料(11月2日(火)より電話で予約受付)

【ギャラリートーク】

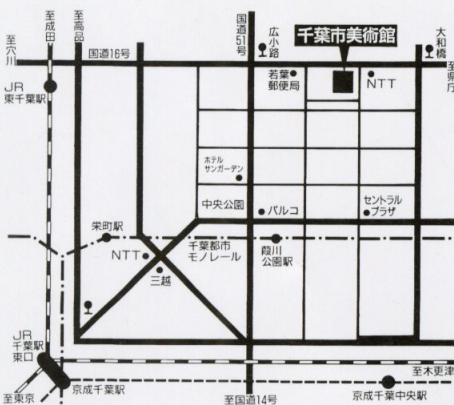
11/6(土)、17(水)、27(土)、12/8(水)の4回 午後2時より
8階展示室前にお集まりください。

【次回予告】

「ジョセフ・コスース」展 12月21日(火)～2000年2月6日(日)



銅造十一面観音坐像(千倉町・小松寺)



【交通案内】

■JR総武線千葉駅

●東口より徒歩約15分

●京成バス大学病院行(のりば)「大和橋」下車徒歩2分

●京成バス矢作台市営住宅・川戸行
(のりば)「広小路」下車徒歩1分

●千葉都市モノレール県庁前行(「霞川公園」下車徒歩5分)

●無料巡回シャトルバス「チーバス」

(のりば)「中央区役所・美術館前」下車

(11時05分～18時35分の毎時5分と35分に出発・水曜運休)

■京成千葉中央駅東口より徒歩約10分

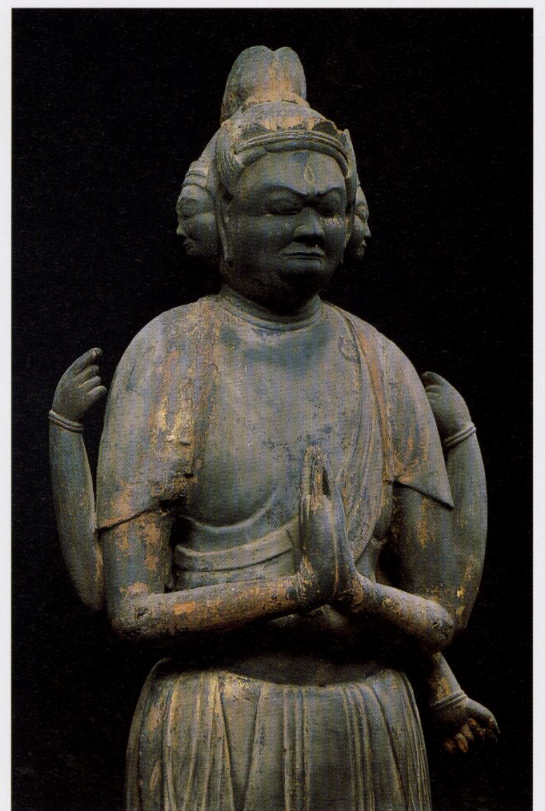
千葉市美術館

〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8

NTTハローダイヤル043-227-8600



愛染明王像(長徳寺)



木造馬頭観音立像(大多喜町・紺屋区)